



横浜市立恩田小学校 学校だより 11月号

発行 令和2年11月2日

恩田小学校
HP⇒



「心でつながる」

校長 古屋 澄人

1日遅れとなりましたが、10月18日(日)「恩田スポーツフェスティバル」が開催されました。今年は今までの運動会とは目的やめあてを大きく変えて、「運動に親しむこと」「個人やグループのめあてを大切にすること」そして「お互いの動きのよさを見合うこと」を大切にして取り組みました。

スローガンは「心でつながる 笑顔まんさい」でした。新しく取り入れた「アドベンチャー走」には、ハードル走やボール運動の要素を入れながら運動に親しむ競技となりました。1年生のダンスを取り入れた「玉入れ」を見ていた放送系の子どもは、「自分が1年生の時は、あんなに上手に玉をなげられなかったなあ」と感心しながらつぶやいている姿がありました。

恩田小学校の伝統を継承しつつも毎年新たな要素を取り入れている4年生の「恩田の風」(和太鼓)や6年生の「6騒乱」(ソーラン節)も見事な演技を披露したと思います。「今まで通りのソーラン節はできないけれど、今年だからこそできるソーラン節を練習し表現できました。」と演技を終えて晴れ晴れとした表情で語った6年生。恩田スポーツフェスティバルを象徴している言葉だったと思います。



今年の恩田スポーツフェスティバルは午前中の開催ではありましたが、多くの発見がありました。勝ち負けにこだわらず自分のめあてを意識して演技や競技に真剣に取り組む子どもたちの姿。演技や競技中の笑顔。やり終えた後のすがすがしい表情。恩田小学校全体を応援したいという熱い思いをもって全力応援した応援組の子どもたち。大きな声援を送ることはできませんでしたが、心でつながりあうことを実践できた子どもたちだったと思います。

保護者の皆様には、制限のある中で参観にご協力をいただきありがとうございました。また、PTA役員の皆様には事前準備から当日の係活動に至るまでご尽力いただき、感謝申し上げます。課題もいくつも見えてきました。子どもたちの安心・安全を最優先としながら次年度の恩田スポーツフェスティバルにつなげていきたいと思っています。